

平成30年11月 2日  
岐阜県立飛騨高山高等学校  
国土交通省高山国道事務所

## 多様な生物の再生を促すため、光が当たる開けた水面環境を創出します ～飛騨高山高校の生徒とのビオトープ“飛騨の森再生”の取組～

- 概要** : 高山西IC内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”において、平成22年度から飛騨高山高校生徒が環境学習を実施しています。  
今年度7回目の実施になる今回は、ビオトープ内の調整池に繁茂している大型水生植物の間引き作業を実施し、開けた水面環境を好む昆虫類や小型植物が生息する環境を生成することで、より多様な生息環境の創出を図ります。また、草地ゾーンに自生している樹木について、樹林ゾーンへの移植を行います。
- 日時** : 平成30年11月 7日(水) 10:00～12:00  
【雨天中止】
- 場所** : 中部縦貫自動車道高山清見道路 高山西インターチェンジ内  
ビオトープ“飛騨の森再生”(高山市清見町牧ヶ洞地内)
- 参加者** : 岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 3年生36名
- 添付資料** : 別紙1～3のとおり
- 配布先** : 高山記者クラブ
- 問合せ先** : 岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス  
環境科学科 原 康彰(はら やすあき)  
TEL 0577-33-1060  
FAX 0577-32-8994  
  
国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所  
計画課長 奥田 清典(おくだ きよのり)  
TEL 0577-36-3822  
FAX 0577-36-3801



## 学習内容

今年度7回目となる実習は、環境科学科3年生36名が参加して、ビオトープ内調整池において大型水生植物の間引き作業および草地ゾーンに自生している樹木の移植作業を行います。

### 大型水生植物の間引き作業

ビオトープ内調整池の植生も発達してきましたが、一部の大型水生植物が水面全体を覆うほど繁茂しつつあり、開放的な水面が減少しており、それに伴い、開放的な水面を好む植物が駆逐される恐れがあります。

今回の学習では、大型水生植物の間引き作業を実施することで、光が当たる開けた水面環境を好む昆虫類や小型植物が生息する環境を生成し再生を促すことで、より多様な生息環境の創出を図るとともに、好む水面環境が異なる植物について学習します。

### 草地ゾーンの樹木の移植作業

開けた空間として整備している草地ゾーンですが、樹林ゾーンより種子が飛来し、幼木が生長してきました。このままでは草地が樹林化してしまう恐れもありますので、草地環境を維持するために、草地ゾーンにある幼木を樹林ゾーンへ移植します。

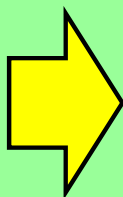
#### 昨年度の学習状況(平成29年11月8日実施)



【大型水生植物の間引き作業状況】



【間引き作業前】



【間引き作業後】

#### 現在の状況 (平成30年8月時点)

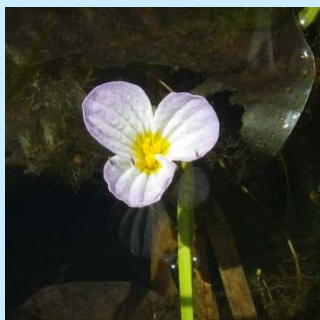


【大型水生植物の繁茂】

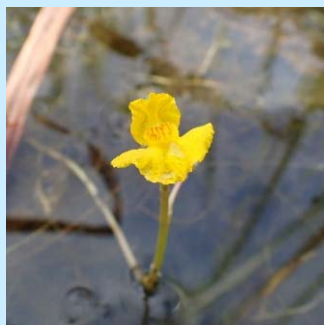


【草地ゾーンに定着した樹木】

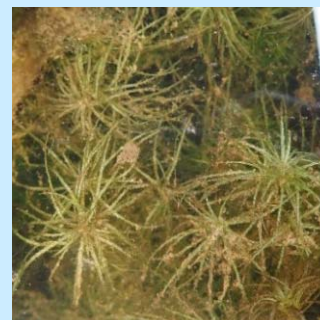
#### 間引きの実施により再生が期待される植物



ミズオオバコ  
(環境省RL:絶滅危惧Ⅱ類、  
岐阜県RDB:絶滅危惧Ⅰ類)



イヌタヌキモ  
(環境省RL:準絶滅危惧、  
岐阜県RDB:絶滅危惧Ⅰ類)



サガミトリゲモ  
(環境省RL:絶滅危惧Ⅱ類、  
岐阜県RDB:絶滅危惧Ⅰ類)



# 高山西 I C ビオトープ “飛驒の森再生”

## 1. ビオトープ “飛驒の森再生” 整備

中部縦貫自動車道高山清見道路の建設により、動植物の生息・生育環境が分断され、従来の自然環境が大きく変化する可能性があります。そのため、インターチェンジ内を『飛驒の森再生』として位置付け、調整池の自然利用及び周辺植生の遷移促進を含めた計画をし、平成16年11月に高山清見道路（飛驒清見 I C～高山西 I C）の供用と同時にビオトープが完成しました。

さらに、平成22年7月には、飛驒高山高等学校と高山国道事務所で「維持管理に関する協定」を締結し動植物の生息・生育環境創生に取り組んでおります。



整備直後(H16. 11)



現在の生育状況(H30. 5)

## 2. 現在のビオトープの状況

完成してから13年が経過した調整池を含むインターチェンジ内の環境は大きく改善し、ビオトープに移植した根株・貴重植物とともに生育状況は良好です。また、周辺域から在来種も入り、ビオトープ内は調整池や植生の変化に併せて、両生類（カエル）や昆虫類（トンボやバッタ）などの定着も順調に進み、生物の多様化が進んできています。

また、同校との協働による継続的な維持管理活動により、貴重な植物が繁殖又は再確認されるなど、様々な動植物の生息・生育環境が維持されています。

### 確認された重要種など

陸  
域

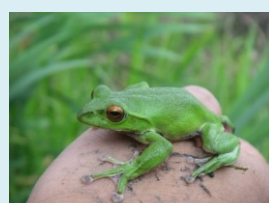


移植した重要種  
(キキョウ)

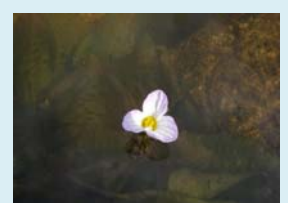


確認された重要種  
(マルタンヤンマ)

水  
域



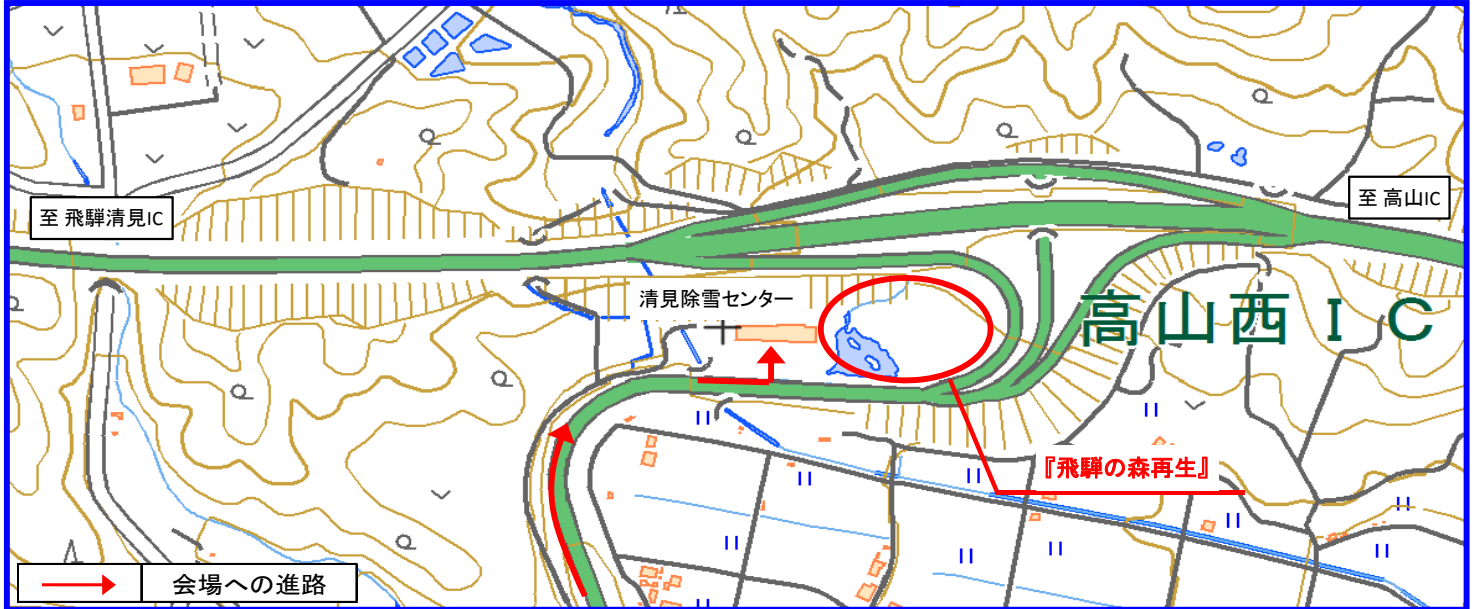
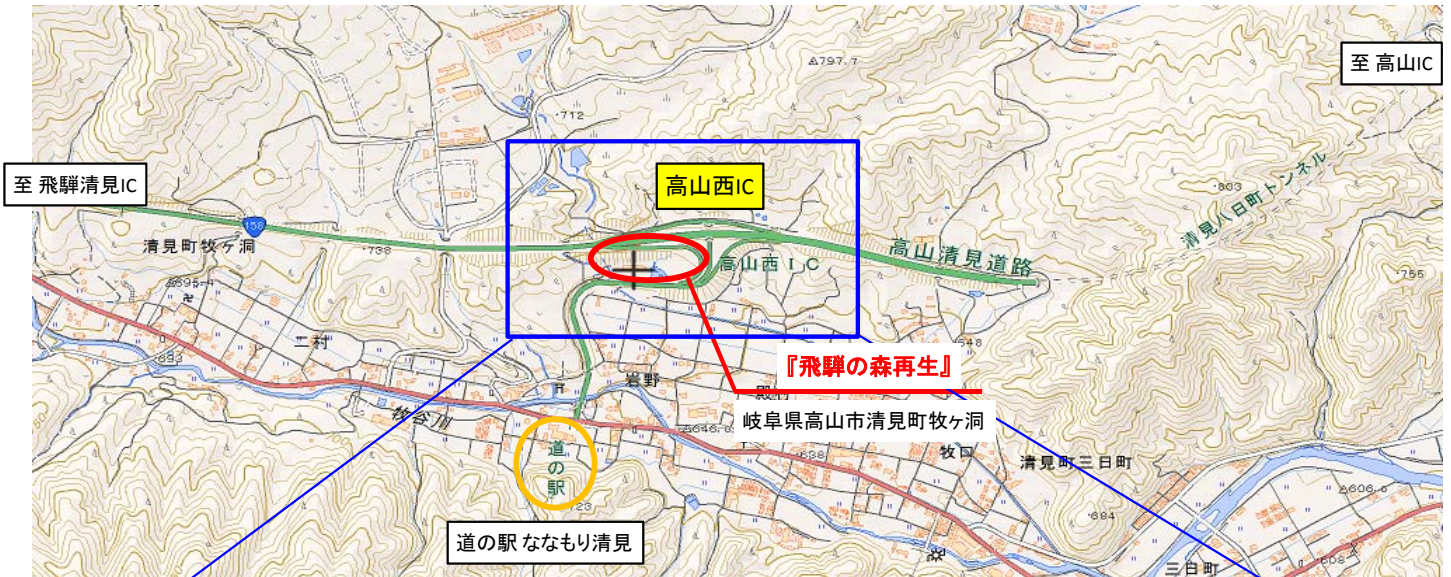
確認された重要種  
(モリアオガエル)



確認された重要種  
(ミズオオバコ)

# 環境学習 実施位置図

実施場所：高山西IC内ビオトープ「飛驒の森再生」



取材希望がございましたら清見除雪センターにお集まり下さい。